

海外に広がる県系人ネットワークを生かした新しいビジネス展開に取り組んでいるWUB（ワールドワイド・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション）の前身は一九九三年、ロバート仲宗根氏が創設したHUB（ハワイ・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション）だった。

HUBはハワイと沖縄、世界を結ぶビジネス機会の促進を目指していたが、舞台を世界規模に移そうと九七年、ハワイでWUBが設立され、第一回世界大会が同地で開催された。

その後ブラジル（第二回・九八年）、ロサンゼルス（第三回・九九年）と北南米を中心に世界大会を開催した。

日本では二〇〇〇年に第四回大会が沖縄で開催され、〇一年の第五回大会は東京、〇五年の第九回大会の関西と、三回開催されている。

今年一月はペルー・リマ市で第十回大会が開かれ、各国十支部から約二百二十人が参加。相互交流を深めながら県系人ネッ

今年で設立10年目

奨学制度創設、人材育成も

トワークを活用した新たなビジネス展開の可能性を探った。〇七年はアジア大陸で初めてとなる中国・上海、〇八年は移民百周年を迎えるブラジルで開催が予定されている。

二〇〇六年十月現在、WUBは十五カ国、二十一支部を有し、会員数は五百三十二人に上る。

WUBはウチナンチュのネットワークを生かし、ビジネスの可能性を広げてきた。〇五年、沖縄で開催された米州開発銀行（IDB）年次総会では、中小民間企業に金融支援などを行う組織「米州投資公社（IIC）」と、WUB会員企業への投融资に関する覚書を締結した。

また人材育成の面でもWUBの取り組みは始まっている。WUB創設者のロバート仲宗根氏が奨学制度の創設を提唱し、今年一月、ペルーで開催された第十回世界大会で承認された。ハワイ大学のイーストウエストセンター（EWC）に派遣される第一期奨学生には、ペルー・リマ市で写真技術の講師をしている仲田マリさんが選ばれている。

ワールドビジネスフェア